

みどりの杜俳句会

我家の前も後も山笑ふ

佐山けさ子

空くもり芽吹き初めの雑木山

高橋 きみ

春日射しグランドゴルフ一周す

安田 久子

我家の日溜りに咲き蔭のたう

落合 七郎

庭先に落葉押し上げ福寿草

西 ツル

落花生と福豆供へ屋敷神

河西カナメ

立春の雨衿足を濡らし過ぐ

馬場 芳

庭先の八重山茶花やなほ開く

飯野 トヨ

御堂入口福寿草未だ蕾かな

田村 好子

葉につやのありてピンクの八重椿

飯野はつ志

目覚むるや廊まで届く寒茜

鈴木 啓子

山土手に緑小さく蔭のたう

高橋 ツ子

空咳の喉をうるほす福茶かな

吉田 愛子

杜へ行く正面冬の虹かかる

山崎 才子

つぐみの子地面突つき餌さがす

千野さき子

山風に切干大根白きかな

小宮 勉

山越への通勤斜面梅真白

岩崎 真人

たんぽぽの開き初めて風の中

野口利江子

山中にピンク一樹や枝垂れ梅

金子 圭輔

霜枯れの岩だれ草の黒くなる

関口 侑子

坂道の落葉踏みつつかたき石

岡部富美子

庭の露玉天ぶらにしてほろ苦し

土屋 厚子

朝日射し終の花白さ増す

初雁 功子

神楽殿床に散乱年の豆

山田 美子

白石短歌会

毎日がコロナコロナで日が暮れる

太陽は何を考えているのやら

渡邊美枝子

両神山に真赤夕日が沈む頃

家路に付きき楯を背負ひて

坂本 美江

前山の間伐に倒れる大木の

響く峽に甦える年月

白石 礼子

災害に崩れ残りし島に笑む

みずくし顔々ふきのとう

渡邊阿里子

お詫びと訂正

広報令和2年2月号において、岡部富美子さん、および土屋厚子さんの句の「鳥」を「鳥」と表記しておりました。お詫びして訂正いたします。

人権シリーズ

『同じ目線で』

今年には2020オリンピックイヤーで大変盛り上がっています。半世紀前の東京オリンピックでは、第13回国際スポーツ・マインドビル大会という名称で障がい者スポーツ大会が開催され、今日のパラリンピックに至っています。報道の中で選手は、「障がい者と思わないでくれ。」と話しています。パラリンピックの選手の中には、元々オリンピックの選手だった方もいてびっくりしました。もちろんスポーツ界だけでなく、いろいろな部門で優れた技能を有し活躍している方も大勢おり、世界を舞台にこれからも活躍していくのだらうと思います。

さて、近年引きこもりは社会問題であります。私の家に引きこもりの高校生が遊びに来てくれました。前もって連絡があり、私自身どのように対応しようか悩みました。対面すると表情も硬く、ただ連れてこられたという感じでした。プレゼントを二個用意して、一つ選ぶように言いました。彼が選んだのは外国製のボールペンでした。「どうしてこちらを選んだの?」「どのような時に使うの?」と話しかけると、彼はたくさん話をしてくれました。あつという間に時間が過ぎ、「僕、これから頑張るよ。」と笑顔で帰りました。その後不登校も解消したそうです。

村内でも単身の高齢者が多く、訪問いろいろな話をしています。テレビでニュースやドラマを見ますが、そのような中でもやはり相対して話をするのが大切であると感じます。話の中で、状況を把握することも出来ます。適切に対応し、同じ目線で価値観を引き出せてあげられれば最高です。毎日良かった、悪かった、もつと考えれば、などと日々自分自身反省し、焦らずマイウェイです。

東秩父村民生委員児童委員協議会副会長 鈴木 一男